

令和6年度岩手県立花泉高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日時：令和6年10月24日（木）15：40～17：00

会場：会議室

出席者：

協議会委員 高橋 敬之（花泉先人顕彰会常任理事）

協議会委員 門田 徹（花泉小学校長）

協議会委員 佐藤 拓史（花泉中学校長）

協議会委員・学校運営協議会長 菅原 美穂（一関市役所花泉支所地域振興課長）

校長、副校長、事務長、教務主任、総務主任、進路指導主事、生徒指導主事、保健主事

次第

1 開会のことば

2 校長あいさつ

〔校長〕

生徒は日々学習や部活動、ボランティア活動に取り組んでいる。手厚い指導のもと、まったく学校に来られない生徒はおらず、落ち着いて生活している。3年生は就職のほうはだいぶ決定しており、進学に向けてこれから取り組んでいくところである。

本校は小規模校ではあるが、地域と密接なつながりを持ち、地域を活性化するお手伝いができる学校である。就職にも進学にも対応できる手厚い指導体制があり、生徒には必然的に積極性やリーダー性が身についていく。少人数であるがゆえにできることが本校の魅力でもある。

本日の運営協議会では、本校での中間反省結果を踏まえて、これからの花高の魅力化・特色化について委員の皆様からの忌憚のないご意見を頂戴し、学校経営に反映させたいと考えている。

3 協議 令和6年度花泉高等学校の前期学校運営・活動報告について

（1）令和6年度学校概況説明

〔副校長〕

「花高通信」7月号～10月号を参照しつつ概況を説明

1 学年 1 学級校で単独チームを組んでいる野球部の活躍や花泉高校魅力化プロジェクト（花プロ）の活動、多様な進路を支える進路指導体制等について説明する。

（2）令和6年度総務課活動報告

〔総務課長〕

資料の通り

（3）令和6年度教務課活動報告

〔教務課長〕

資料の通り

〔委員〕

・かがやき支援員について

小学校では特別支援学級に在籍する児童が複数いる。小学校卒業後は特別支援学校中等部もしくは花泉中学校に進むが、保護者の関心は18歳時点でどうなっているか、就職の支援はしてもらえるのか、という点にある。普通高校で受けられる支援について小学校では情報がなかったが、もし保護者に伝えられることがあれば不安を感じる親への安心材料になる。花泉高校での支援の現状や見通しは。

〔校長〕

現在1名の特別支援教育支援員が県の予算で配置されている。中学校のように支援学級があるわけではない。あくまでも普通学級の中での支援である。中学校で支援学級に在籍していた生徒を中心に、教員からの指示の伝達を支援している。1名しかいないので、対応できる人数は限られている。入学試験を経て合格となるため、高校での学習を受けるに足る生徒に来てもらいたい。

本校の規模では支援員の増員は難しい。身体障害の生徒が入学した場合には追加配置されるかもしれない。

〔委員〕

高等学校における「通級による指導」が拡充していると聞くが現状は。

〔副校長〕

岩手県内では紫波総合高校、種市高校、大迫高校、前沢高校等で実施している。良さもあるが難しさもある。

〔委員〕

支援学級に在籍した生徒のうち、支援学校に進学できない生徒は遠方の私立の学校に電車等で通うケースもある。地域の普通高校で受け入れる体制があれば、生徒数増にもつながると思う

〔校長〕

花泉高校でも中学校時代に特別支援学級に在籍していた生徒が長期欠席することなく生活できている。あくまでも入試を突破し高校の学習についていくことができる、ということが必要。

(4) 令和6年度生徒指導課活動報告

〔生徒指導課長〕

資料の通り

〔委員〕

いじめ1件の詳細は。

〔生徒指導課長〕

1学年のコミュニケーショントラブル。本人が嫌だと感じたらいじめと認定することになっている。

〔委員〕

わんこ情報室の詳細は。

〔生徒指導課長〕

ネットトラブルなどについて事例が書いてあり、自分だったらどうするかを考えさせる内容。

〔委員〕

バイク通学者の実態は。

〔生徒指導課長〕

本校では自宅～学校もしくは自宅～最寄り駅までの距離が6 km以上の場合に申請が可能。事故等の危険性を考え、積極的に進めているわけではない。

〔委員〕

カウンセラーの利用状況は。

〔保健主事〕

現在県のカウンセラーが1名派遣されている。今年度より生徒数が100名を下回ったため午前中3時間のみの配置。生徒や職員がカウンセリングを受けている。

〔委員〕

実績はどのくらいか。

〔保健主事〕

月1回3時間、最大3名利用可能。1日につき1～2名の利用実績がある。

(5) 令和6年度進路指導課活動報告

〔進路指導主事〕

資料の通り

〔委員〕

3年生の就職、進学状況は。

〔進路指導主事〕

学年のおよそ半数の就職希望者のうち進路未定者は2名で90%程度内定をいただいている。残り半分の進学希望者のうち2名が専門学校合格している。推薦入試の結果は12月頃までに明らかになる。一般入試は1月、2月に結果が判明するため、全員の進路先の決定は3月になる。

(6) その他

なし

4 意見交換

〔委員〕

同窓生である自分が入学した頃は1学年5クラスあり大変活気があった。次第に生徒数が減少し、グラウンドからの声もだんだん聞こえなくなり寂しく感じている。藤沢高校も廃校となり、一時は花泉高校も存続が危ぶまれたが何とか維持できている。人数は少ないがぜひ頑張ってもらいたい。生徒数が少ない分細かい所に目が届くというのは良い点だと感じている。

〔委員〕

小学生が花泉高校について話せることはあるのだろうか、どれだけ身近なのだろうか、と考えると、小学校は高校のイメージがよくわかっていないのではないかと思う。高校で「花プロ」など地域の魅力作りに取り組んでいると聞き、小学校の総合的な学習の時間にうまく繋がられないだろうか、と思う。また、高校生が市民センターでボランティアに取り組んでいるということだが、各地区の市民センター単位で子供たちのつながりを作ることはできるのではないか。花泉町内の小学校を統合する前は各小学校と市民センターにつながりがあったのだが、統合を契機に活動が減った市民センターもある。小学校の(各地区の)PTAと市民センターがつながり、その地区の小学生が参加するイベントに高校生がボ

ランティアで参加する取り組みができれば、将来花泉高校を進路先として選ぶ子供が出てくるかもしれない。

〔委員〕

現在1学年100名程度。2学年が職場体験をした。その際のアンケートでは、将来花泉に住むことを考えている生徒は10名いなかった。また、3年生100名の内10名が不登校と少なくない割合であり、学校のあり方を考えなくてはならないと感じている。花泉中学校から花泉高校に進学した生徒で心配な生徒もいたが、休みながらも通学していると聞き、よりよい形で指導していただいている。花泉高校への進学者は10名程度。花泉高校でどんなことをやっているか生徒も教員も知らない。コロナ禍を経てつながりが絶たれた部分もあり、なかなか新しいことを始めるのは難しいが、今できる範囲で繋がるとよいと思う。中学校でも地域の学習に取り組んでいるので、「花プロ」の成果等踏まえ、アドバイスをもらう機会があるとよい。

〔委員〕

市民センターの行事において花泉高校の生徒にボランティアとして参加いただいている。行政としても入学生の減少は課題と捉えている。高校の再編計画や西和賀高校の定員増のニュース等注視している。西和賀高校では留学生として県外出身者を受け入れていると聞き、そういう方法もあるが、何をどうやっていくかは見えていない。今後行政として何をやっていくかしっかりと考えていきたい。市としても危機感を持っている。できること、できないことがあるが情報共有を図り、PTAや高校から「こういうことができないか」という相談があれば寄せていただきたい。

〔生徒指導課長〕

西和賀高校では町からの金銭的な支援があると聞く。住田高校も外部から進学した生徒に対して手厚い補助があるそうだ。一関市から制服モデルチェンジに伴っての制服代補助や共働き世帯への支援としての給食提供などお願いできないか。財政的な支援があると保護者の感覚も変わるかもしれない。

〔委員〕

大東高校も定員120名に対して51名の入学生ということで、比率で言えば花泉高校と状況は似ているともいえる。花泉高校だけでなく一関市内の小規模の高校は類似した問題を抱えていると言える。

〔校長〕

市のスクールバスに高校生も乗せられないか。

〔委員〕

市が運航しているバスなので基本的には難しいだろうが、要望をあげることは可能であろう。

〔進路指導主事〕

西和賀高校では学習塾の運営を町が行っていると聞く。旧一関市内の高校に進学せずとも進学対策が可能であれば進学率と言う点では向上するかもしれない。また、総合的な探究の時間の地域探究活動について、他の市町村ではコーディネーターを市町村が派遣するという取り組みをしているが、一関市では行っていない。職員の負担軽減、生徒の学習活動の質の向上のためぜひお願いしたい。

〔委員〕

声を寄せていただいて初めて気づくこともあった。寄せられた意見を持ち帰る。

5 その他

(1) 今後の協議予定について

第3回学校運営協議会 令和7年2月17日(月)

〔副校長〕

協議会委員にも今年度の学校経営に対する学校評価に協力いただきたい。その結果を踏まえて会議資料を作成する。事前に内容を確認いただけるように、会の開催前に郵送する予定である。次年度の学校経営計画について協議する予定である。

6 閉会のことば